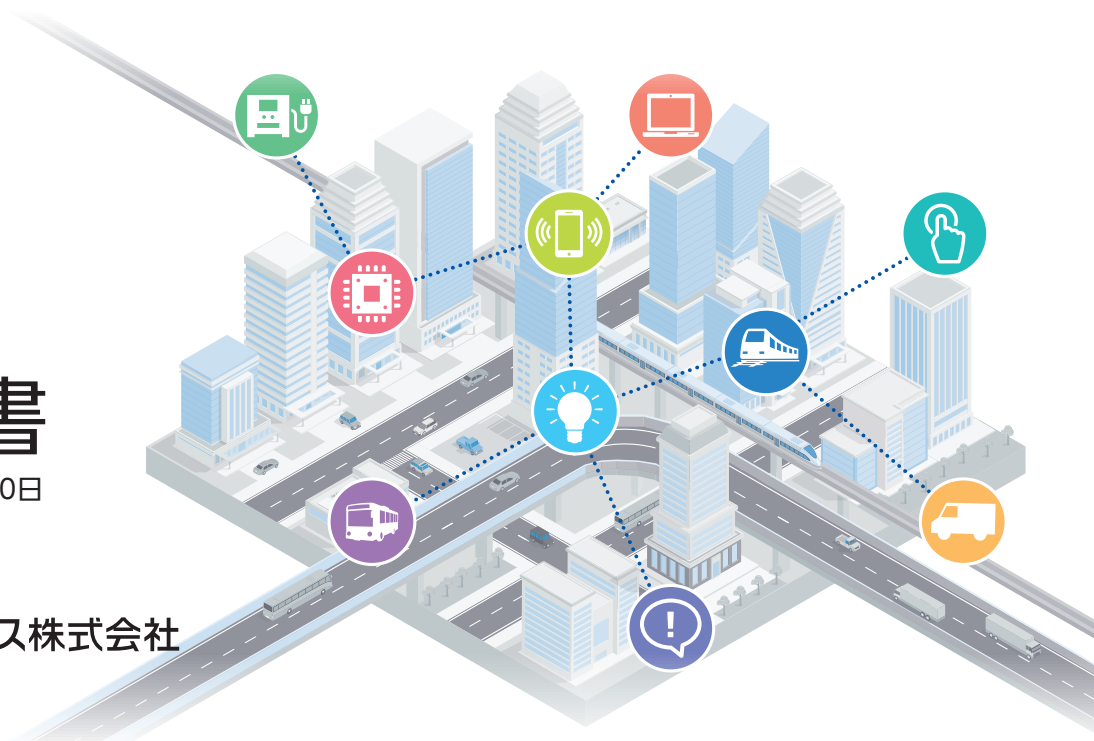


# 第73期 中間報告書

2024年4月1日～2024年9月30日

レシップホールディングス株式会社

証券コード：7213



## トップメッセージ Top Message

株主の皆様におかれましては、平素より格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

当中間連結会計期間におけるわが国経済は、個人消費の増加や訪日観光客をはじめとした移動需要の増加により、景気は緩やかな回復基調となりました。一方、為替の変動や世界情勢の不安に伴う物価上昇、資源・原材料等の価格高騰など、依然として先行き不透明な状況が継続しております。当社グループを取り巻く経営環境においては、主要な取引先であるバス・鉄道業界における輸送量が増加した影響により設備投資意欲が回復してきたことに加え、2024年7月の新紙幣発行に伴う設備投資も増加しました。

このような経営環境の中、当社グループにおきましては、2021年4月よりスタートいたしました長期ビジョン「VISION2030」と、長期ビジョンの実現に向けたアクションプランとして、2021年度から2030年度までの10年間で3つのフェーズに分けた中期経営計画を策定し、取り組みを行っています。2024年4月からは、中期経営計画「RT2026 (Reach our Target 2026)」について取り組みを進めております。基本戦略は、①海外事業の確立、②新規領域の拡大、③収益性・効率性の追求、全社戦略は、④経営効率の向上、⑤新たな企業文化の醸成、とし、5つの課題に向けた取り組みに注力しております。

以上の結果、当中間連結会計期間の連結業績につきましては、売上高は103億10百万円（前年同期比41.8%増）、営業利益は13億49百万円（前年同期比11.4倍）、経常利益は11億76百万円（前年同期比2.7倍）、親会社株主に帰属する中間純利益は7億円（前年同期比2.8倍）となりました。売上高としては3期連続増収、営業利益以下、各段階利益は中間連結会計期間における過去最高益を更新しました。

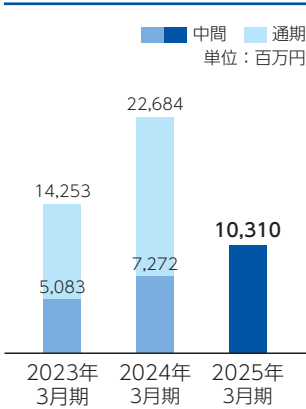
引き続き、長期ビジョンで描いたありたい姿を実現するために、中期経営計画に基づいた戦略に取り組むことで事業構造の変革を進め、持続的な成長と企業価値の向上に努めてまいります。

株主の皆様におかれましては、今後とも格別のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

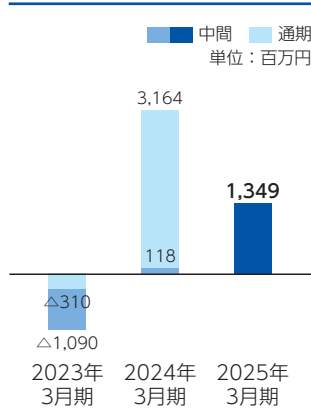


代表取締役社長 杉本 眞

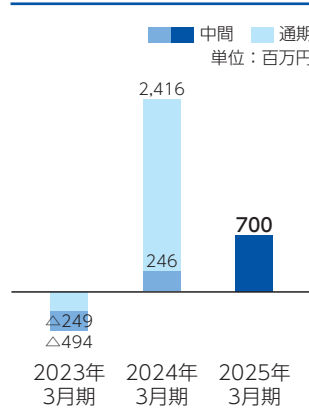
売上高



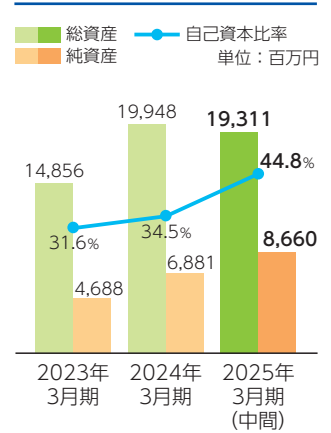
営業利益



親会社株主に帰属する当期(中間)純利益



総資産/純資産/自己資本比率

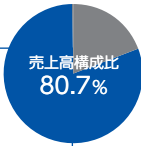


事業別概況

Business Segment Overview

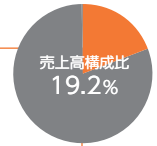
輸送機器事業

路線バスや鉄道用のワンマンシステム機器をトータルに提供し、乗客の利便性向上をサポートしています。また、バス・鉄道・トラック・乗用車に搭載される室内用・室外用照明機器の製造・販売も行っています。



産業機器事業(エネルギー管理システム事業)

インバータ技術をベースに産業用電源関連機器を提供するほか、子会社レシップ電子株式会社において自動車用電装品、産業機器関連の各種プリント基板実装事業を行っています。



中間期の営業概況

バス市場は、新紙幣発行に伴う運賃箱の改造・ソフト改修などの売上があったことに加え、運賃箱の入替に伴う売上が増加し、増収となりました。鉄道市場は、ニューヨーク市地下鉄車両用灯具の納入が進んでいるほか、新紙幣発行に伴う運賃箱の改造・ソフト改修などの売上が増加し、増収となりました。自動車市場は、商用車用LED灯具の売上が増加し、増収となりました。損益面は、増収により黒字となりました。

中間期の営業概況

電源ソリューション市場は、物流市場の活況に伴うフォークリフトの安定的な需要により、バッテリー式フォークリフト用充電器の販売が堅調に推移しました。一方、2024年3月に事業譲渡が完了した高電圧変圧器事業に関する売上(燃焼器具用変圧器等)が減少し、減収となりました。EMS市場は、自動車向け・産業機器向け基板実装売上が減少し、減収となりました。損益面は、減収により減益となりました。

売上高

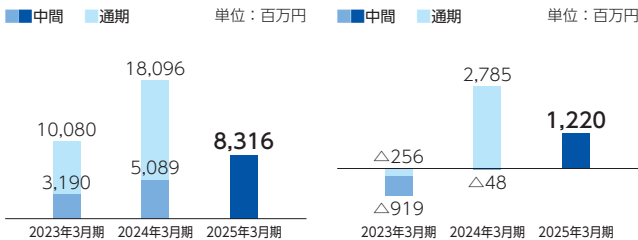
83億16百万円

前年同期比63.4%増

営業損益

12億20百万円

前年同期は48百万円の営業損失



売上高

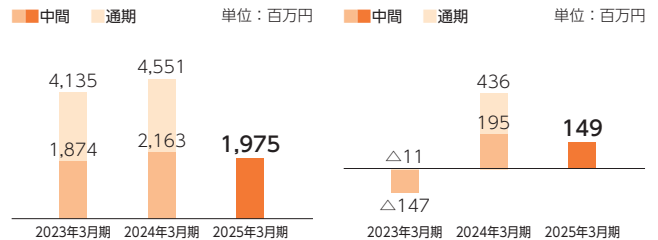
19億75百万円

前年同期比8.7%減

営業損益

1億49百万円

前年同期比23.6%減



運賃箱



カラーLED式行先表示器



鉄道車両用照明



フォークリフト用充電器



LED電源

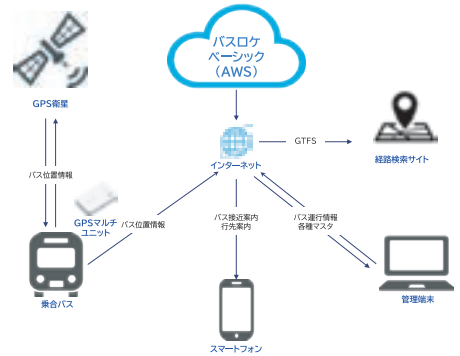


プリント基板実装

### ❖ 低コスト・短納期で導入可能な「バスロケベーシック」を開発

バスの位置情報を事業者・利用者に提供するバスロケーションシステム（以下：バスロケ）の新プランとして「バスロケベーシック」を開発しました。本システムは、バスの位置情報だけに特化したシンプルなバスロケです。低コスト・短納期での導入が可能であり、車両に設置した専用機器で位置情報を収集し、事業者・利用者にリアルタイムでバスの位置情報を提供します。

これまでの当社の標準的なバスロケである「バスロケプレミアム」は、一定台数以上のバスを運行する事業者向けの多機能型システムであるのに対し、「バスロケベーシック」は、コミュニティバスなどを運行する自治体など運行車両数の少ない事業者でも気軽に運用できることが特長です。スクールバスや企業間輸送など、公共交通以外でのバスロケの活用も見据え、引き続きさまざまなニーズに応える開発を進めます。

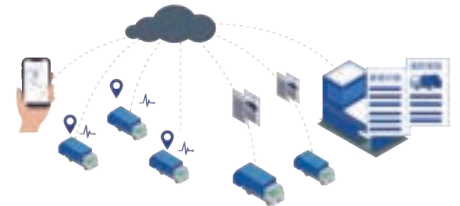


### ❖ 新明和工業と「廃棄物収集業務効率化システム」の共同開発を開始

新明和工業株式会社（本社：兵庫県宝塚市）とレシップ株式会社は、路線バス用運行支援システム「LIVU」の技術をベースに「廃棄物収集業務効率化システム」の共同開発を開始しました。

レシップ製の車載機器を塵芥車に取り付け、車両の位置情報や稼働状況、廃棄物の積載状態（収集量・かさ）などのリアルタイム監視を行います。収集したデータを活用し、オペレーターによる配車・積載状態のリアルタイム監視、ドライバーへの通知・ルート案内、日報の自動作成など業務効率化につながるサービスを提供します。

塵芥車は、指定ルートを走行しますが、ゴミの量や交通事情によって急なルート変更や車両の応援手配が必要な場合があります。これまでは、ドライバーとオペレーターの経験を頼りに電話連絡でやりとりが行われていました。レシップが得意とするバスと新明和工業が得意とする塵芥車は、決まった時間に同じルートを走行するという点が共通しています。人手不足への対応、ノウハウの継承という共通の課題に対し、双方の技術と知見を融合することになりました。2025年のサービス提供開始を目標とし、新たな事業領域、製品とサービスを組み合わせたビジネスの拡大に挑戦します。



### ❖ 乗務員支援システムに日本語・英語の音声案内機能を追加

路線バス用運行支援システム「LIVU」が提供するサービスのひとつである「路線バス乗務員支援システム」に、日本語と英語の乗務員向け音声案内機能を追加しました。これまでのモニタ画面での表示に加え、経路間違いを防止するために運行経路を音声で案内する機能を追加しました。運行経路の習熟度に関わらず、運転に集中できる環境を整備することで、乗務員不足解消に貢献します。

バス業界においても、人手不足解消のために外国人ドライバーの採用が見込まれています。今後の人材の多様化に応えるために、英語以外の多言語対応も検討中です。



### ❖ レシップ電子、新工場竣工

本社工場敷地内にて建設を進めていたレシップ電子株式会社の新工場が竣工しました。新工場では、現在需要が増加している車載向け製品の受注増加に対応した専用ラインを設置します。また、屋根に太陽光パネルを設置し、カーボンニュートラル実現に貢献する工場を目指しています。

現在、機械等の移設や搬入を進めており、2025年1月からの稼働開始を予定しています。新工場の稼働により、生産能力の向上と環境負荷の低減を同時に実現し、持続可能な事業展開を推進します。





## 会社概要

商号	レシップホールディングス株式会社 (英文社名: LECIP HOLDINGS CORPORATION)
所在地	〒501-0401 岐阜県本巣市上保1260番地の2 TEL.058-324-3121 FAX.058-323-2597
設立	1953(昭和28)年3月
資本金	17億1,822万円
従業員	連結635名
上場取引所	東京証券取引所スタンダード市場 名古屋証券取引所プレミア市場

## 役員

代表取締役社長	杉本 眞	(監査等委員)	
専務取締役	三井 紘子	社外取締役	木村 静之
常務取締役	長野 晴夫	社外取締役	山口 美和
常務取締役	品川 典弘	社外取締役	四井 清裕
取締役	岩佐 幸治		
取締役	北野 元昭		

## 株式の状況

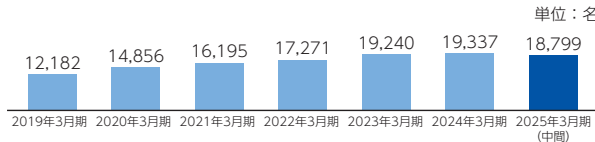
発行可能株式総数	44,000,000株
発行済株式の総数	15,891,500株
株主数	18,799名

## 大株主

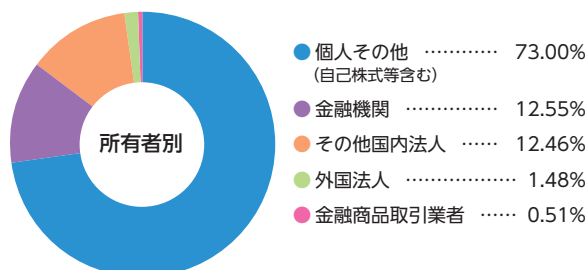
株主名	持株数(株)	持株比率(%)
レシップ社員持株会	976,015	6.22
名古屋中小企業投資育成株式会社	936,480	5.97
株式会社十六銀行	560,000	3.57
杉本 眞	435,941	2.78
レシップ取引先持株会	360,000	2.29
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (役員報酬BIP信託口)	300,920	1.91
日本生命保険相互会社	260,000	1.65
株式会社三菱UFJ銀行	245,000	1.56
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	230,700	1.47
株式会社大垣共立銀行	140,000	0.89

(注) 持株比率は、自己株式(213,756株)を控除して計算しております。

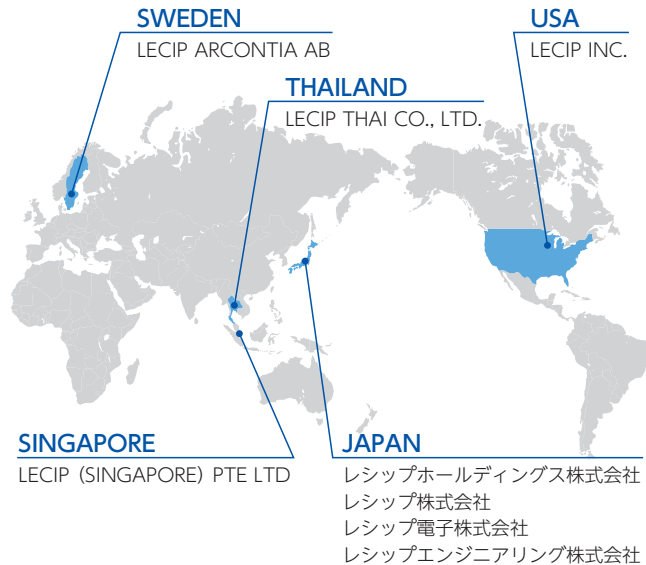
## 株主数推移



## 所有者別株式数分布



## レシップグループ



## 株主メモ

事業年度	4月1日~翌年3月31日
期末配当金受領株主確定日	3月31日
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 Tel. 0120-232-711 (通話料無料)
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 Tel. 0120-232-711 (通話料無料)
公告の方法	電子公告により行う。 公告掲載URL <a href="https://www.lecip.co.jp/hd/">https://www.lecip.co.jp/hd/</a> (ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告いたします。)

## ご注意

- 株主様の住所変更、買取請求その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に登録された株式に関する各種手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取り扱いいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。



この印刷物は、  
植物油インキを  
使用しています。

UD FONT 見やすいユニバーサルデザイン  
フォントを採用しています。



お問い合わせ先 **レシップホールディングス株式会社**

管理本部 総務部 〒501-0401 岐阜県本巣市上保1260番地の2

TEL. 058-324-3121 FAX. 058-323-2597

URL <https://www.lecip.co.jp/hd/>